

社会総ぐるみによる人づくりの「合言葉」

「育もう 地域の愛で 子どもの未来」～ 大人が子どもの手本となり、みんなで人間力を高めます ～

いよいよ師走です。「師走（しわす）」という和風月名の由来にはいくつかの説があるようですが、そのひとつに「師馳月（しはせづき）」というものがあります。昔はお正月にご先祖の供養をしていたため、お坊さんがその準備に忙しく走り回っていたのだそうです。他にも、12月は1年の最後の月なので「極月（ごくづき）」ともよばれることがあります。1年の締めくくりとして、年内にやっておくことを終わらせる。そうすることで、新しい年を気持ちよく迎えられ、新たな目標をもつことができるということです。

ご家庭や学校も締めくくりの時期です。身の回りの整理整頓に加えて、お家の大掃除の手伝いや学校の分担個所の清掃など、自分の役割を果たすことで、一緒に生活する家族や友達、みんなが気持ちよく新しい年を迎えることができます。

◇ 感謝の会 ◇ ～ボランティアの皆様ありがとうございます～

12月7日（土）に、子供たちの登下校や教育活動を見守り、支えてくださっている方々をお招きして感謝の会を開きました。子供たちはこの日のために練習を重ねてきました。当日は、元気いっぱいの笑顔で歌や合奏を披露し、感謝の気持ちを届けることができました。保護者の皆様、地域の皆様、お忙しいところ会場にお越し下さりありがとうございます。



◇ お弁当の日 ◇ ～自分でつくったよ！お家の人と一緒にがんばったよ！～



素敵なお弁当が机上に並びました。食事は体をつくる源です。学校では、給食の時間や教科等の時間に、食事をおして自分の健康を考える「食育」を行っております。今回、お家の人と一緒に食材を買ったという子、一緒につくったという子、教えてもらいながらつくったという子、自分一人で作ったという子など様々でしたが、「食」をテーマに親子の会話も弾んだことと思います。お忙しいところご協力をいただきありがとうございました。この取組をおして、子供たちには、「食」への関心をさらに高めるとともに、感謝の気持ちや失敗を次に生かしていこうとする前向きな気持ちを養っていきたいと思っています。

◇ 合同学習発表会 ◇ ～ 響く歌声 「とよなんサウンド・オブ・ミュージック」 ～



11月29日(金)、チャレンジ学級の子供たちが、教育会館で開催された「合同学習発表会 ～げきと音楽のつどい～」に参加しました。子供たちは、何日も前から少しずつ練習を重ねてこの日に臨みました。今年は10校の小学生がステージ発表に参加し、会場にはたくさんの保護者の皆様がいっぱいでした。当日は、「緊張する」という子もたくさんいましたが、本番では、参加した子供たち全員が堂々と自分の役割を果たし、豊南小の音楽を創り上げました。

昨年の本校の発表テーマは「レッツ・パーティー！」でした。子供たちが、かわいいねずみさんたちに扮して、パーティーの準備をしながら歌や鉄琴、鍵盤ハーモニカでミッキーマウスマーチなどの音楽を奏でていきます。毎年、豊南小の発表には一つのテーマが設けられ、ストーリーを描きながら音楽を奏でていく楽しさがあります。今年も楽しみにしていたところです。

さて、今年は、なんとあの不朽の名作、ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」でした。マリア先生の呼びかけに応じて子供たちが歌を練習します。まず、元気に「ドレミの歌」を歌いました。そして、「次は優しい声で歌ってみましょう」のマリア先生の言葉を受けて「エーデルワイス」をきれいに響かせました。楽器の演奏も音色やリズムが重なり豊かに流れます。最後は別れの挨拶です。みんなで「さようならごきげんよう」を丁寧に歌い上げました。発表が終わると同時に、会場からは大きな拍手が沸き起こります。子供たちはみんな頑張りました。

振り返ると、練習のときから、子供たちの中には「教える」「教わる」の関係が見られました。上級生が、低学年の児童に寄り添い励ましながら一緒に歌います。このような光景を何度か目にしているのです。学校教育において異学年集団での活動は、リーダー性や協調性、思いやりなど、人間性を豊かに育むうえで大変意義のある活動と言われていますが、チャレンジ学級の学習集団には、日頃の生活や学習の中にそのような関係が芽生えているのだと思います。もちろん、発表会に向けてはいろいろと気持ちも揺れ動いたことでしょう。上級生が下級生を励ましたり、友達同士声を掛け合ったりして、保護者や先生に支えられながら同じ目標に向けて頑張ってきたのです。そういった経験を重ねて子供たちは成長していきます。子供たちの経験はこれからも続きます。保護者の皆様と一緒に見守り、支えていきたいと思っています。



◇ 校内人権週間 ◇ ～ 感じて 考えて 行動しよう ～

12月2日(月)～7日(土)は校内人権週間でした。この週間に合わせて、子供たちは人権をテーマに標語をつくりました。お子さんと一緒に考えてくださった保護者の方もいらっしゃると思います。ありがとうございました。友達や学級、家族との関わり、自分の生き方などに目を向け、人とのつながりや感謝の気持ちについて考えたり感じたりして、その思いを行動に生かしていく力を育てていきたいと思っています。

子供たちのつくった標語をいくつか紹介します。読んでみるとやさしい気持ちになります。

- ・だいじょうぶ？ 思いやって 助け合おう ・いじめダメ みんなで出そう その勇氣
- ・おともだち みんなちがって あたりまえ ・人の命を大切に みんなで守ろう みんなの命
- ・命の輪 みとめる心で つなげよう ・だいじょうぶ？ どうしたの？ みんなで助け合い やさしさ一番
- ・やめようよチクチク言葉 思いやりあるその先にある みんなの笑顔
- ・いっしょに遊ぼう なかよしクラスの合言葉 ・個性が光る やさしい世界 広げよう
- ・あいさつは 笑顔をつくる 合言葉 ・それ言われたらどう思う？ 言葉の暴力やめようよ
- ・みんながもってるやさしい気持ち 勇氣をもって声に出そう
- ・気を付けて 気づかず放つ 言葉の矢 ・大丈夫？ 小さな気づかい 大きな絆
- ・気付こうよ 心のブレーキで 止まれるよ ・「やめようよ」 その一言で いじめゼロ
- ・考えて 君の一言 相手の気持ち ・その言葉 自分が言われてどう思う？ 一言一言責任をもって
- ・認め合おう みんなの意見が 未来を作る ・あいさつは 心をつなぐ おくりもの
- ・ほめ言葉 よき未来への 第一声 ・いじめ無し みんな平等 親切に

